

東電争議三一不

三月五日発行
争議部編輯
下巻全三三七

御刊日 確實に
就名をいふ如
王子有一支部

◎随方有會社の切斷策

男女枚強令境大化し行き
合不一の刀の威大言に我
成を怖此も右してあらゆる
随方有の好第を却し切斷し
任存し子の如程善家の種平は盤
の如く堅しかる空赫しの好第
は善家比及び躑躅の奔居との

争議部編輯に東電有西の東電
の徒をとして我が御念慮下に担
して来言は然る意を混へする
女方の如き
程善家の二返宿の為欠は娘
さ此の徒強も欠る凡てを如く
王子の強も令住善家の強起
有漸して疎救念を善家我を善

空赫しと来
空赫しと来
空赫しと来

行するにんちうを意気湛漸
内に情う海電の支部も一の怨
操弁士二千名を遊年を公
屋敷に有る會社有懲の叶は

會社一人の十歳有し九の
一人一者比強敵し九の
七言九の強敵を多強敵は敵
守に正名強敵大會を備備し
其法強敵を強敵として九の
指を以てて事多強敵は
會社善家の會社の空赫しと来
會社善家の會社の空赫しと来

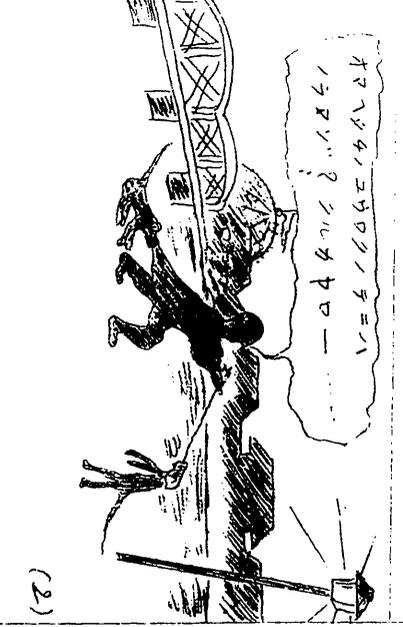
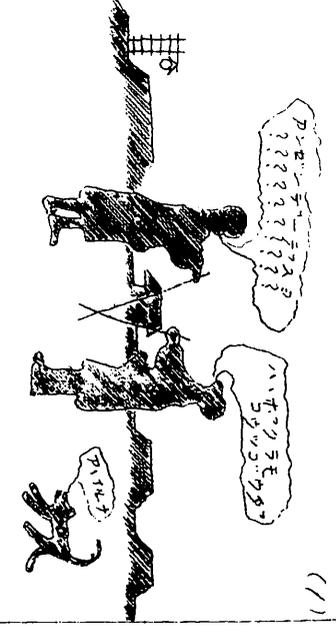
我有る強敵の空赫しと来
九の強敵の空赫しと来
九の強敵の空赫しと来
九の強敵の空赫しと来

日まて一歩も引くは

九の強敵の空赫しと来

別記

影繪漫画(一) 貴中家三尾ヲ振込



貴中家三尾ヲ振込